

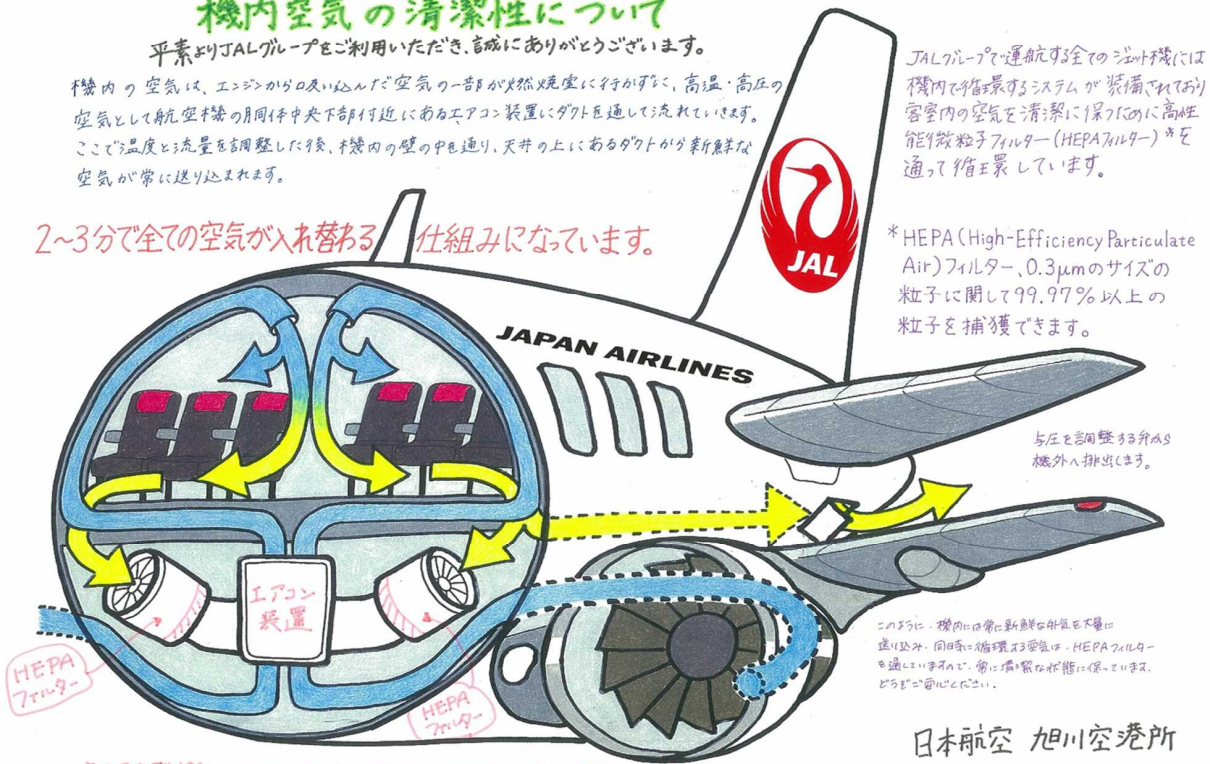
令和2年度 関西3空港の最大活用について考えるセミナー 定時運航・環境・感染症対策について ～安心してご利用いただくために～

機内空気の清潔性について

平素よりJALグループをご利用いただき、誠にありがとうございます。

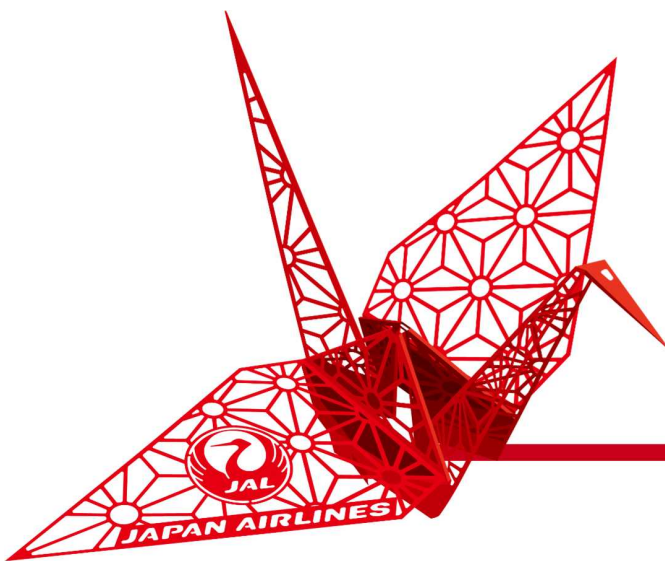
機内の空気は、エンジンから吸い込んだ空気の一部が燃焼室に行かず、高温・高圧の空気として航空機胴体の中央下部付近にあるエアコン装置にダクトを通して流れています。ここで温度と流量を調整した後、機内の壁の中を通り、天井の上にあるダクトが葉巻型で空気が常に送り込まれます。

2～3分で全ての空気が入れ替わる仕組みになっています。



～本日お話をさせていただくこと～

1. 定時運航率向上の取り組み
2. 低騒音機の導入
3. 感染症対策



日本航空株式会社
 大阪空港支店長
 柳川 麻里 (やながわ まり)



1. 定時運航率向上の取り組み

遅延便増加の主な要因

- ① 空域の混雑（訪日外国人の増加による運航便数増加）
- ② 集中豪雨などの異常気象の増加
- ③ ご利用者の増加による空港の混雑



2019冬ダイヤでの主な対策

- ① ダイヤの見直し
 - ・ 運航時間（ブロックタイム）の適正化
 - ・ 折り返し時間の余裕確保
- ② 予備機材の確保
- ③ 保安検査場の締め切り時刻変更（出発15分前→20分前）

遅延を発生させない対策に加え、ひとたび遅延が発生した場合に、後続便に連鎖しないよう、早期に遅延を解消（回復）するための対策を実施。

1. 定時運航率向上の取り組み

遅延便実績

年度/発生月		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	小計	合計
2014	出発	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	15
	到着	0	0	0	1	3	0	2	0	1	8	0	0	15	
2015	出発	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	18
	到着	3	0	0	2	1	0	0	0	0	3	8	0	17	
2016	出発	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	2	57
	到着	3	0	0	2	1	0	6	4	12	3	5	0	55	
2017	出発	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	55
	到着	0	1	1	4	2	2	5	8	6	13	9	3	54	
2018	出発	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	63
	到着	2	1	15	9	9	1	0	0	13	7	0	2	59	
2019	出発	0	0	2	0	1	0	1	0	0	0	0	0	4	56
	到着	3	2	10	5	28	2	1	0	0	0	1	0	52	
2020	出発	0	0	0	0	0	0							0	1
	到着	0	0	0	0	0	1							1	

2019年度冬ダイヤ(2019.10.27~2020.3.28) : **1便** (前年度22便)

2020年度夏ダイヤ(2020.3.29~2020.10.24) : **1便** (前年度55便)

2. 低騒音機導入

機材更新計画

	現在		202x年
大型機	777-300	更新	A350
	777-200		787-8
中型機	767		767-300 (低騒音機への更新検討)
小型機	737-800		737-800 (更なる低騒音機への更新検討)
リージョナル機	E190	更新	三菱スペースジェット (JMRJ/導入時期調整中)
	E170		



- ・2019年10月27日より787が羽田=伊丹線に就航。
- ・大・中型機の機材更新とリージョナル機の新世代低騒音機への機材更新を進めていく計画。

3. 感染症対策

MORE CLEAN & LESS TOUCH

空港で



職員のマスク・手袋着用



パーティションの設置



体温測定カメラの設置



消毒液の配備



ソーシャルディスタンス確保

3. 感染症対策

空港で



ご搭乗案内の工夫



定期的な消毒・清掃



機内で



CAのマスク・手袋着用



化粧室に消毒スプレー



夜間整備時の機内消毒

- ・お客さまに安心して航空機をご利用いただくために衛生対策を強化。
- ・国際民間航空機関(ICAO)が推奨するガイドラインに沿った対策を実施。

3. 感染症対策

ポイント①

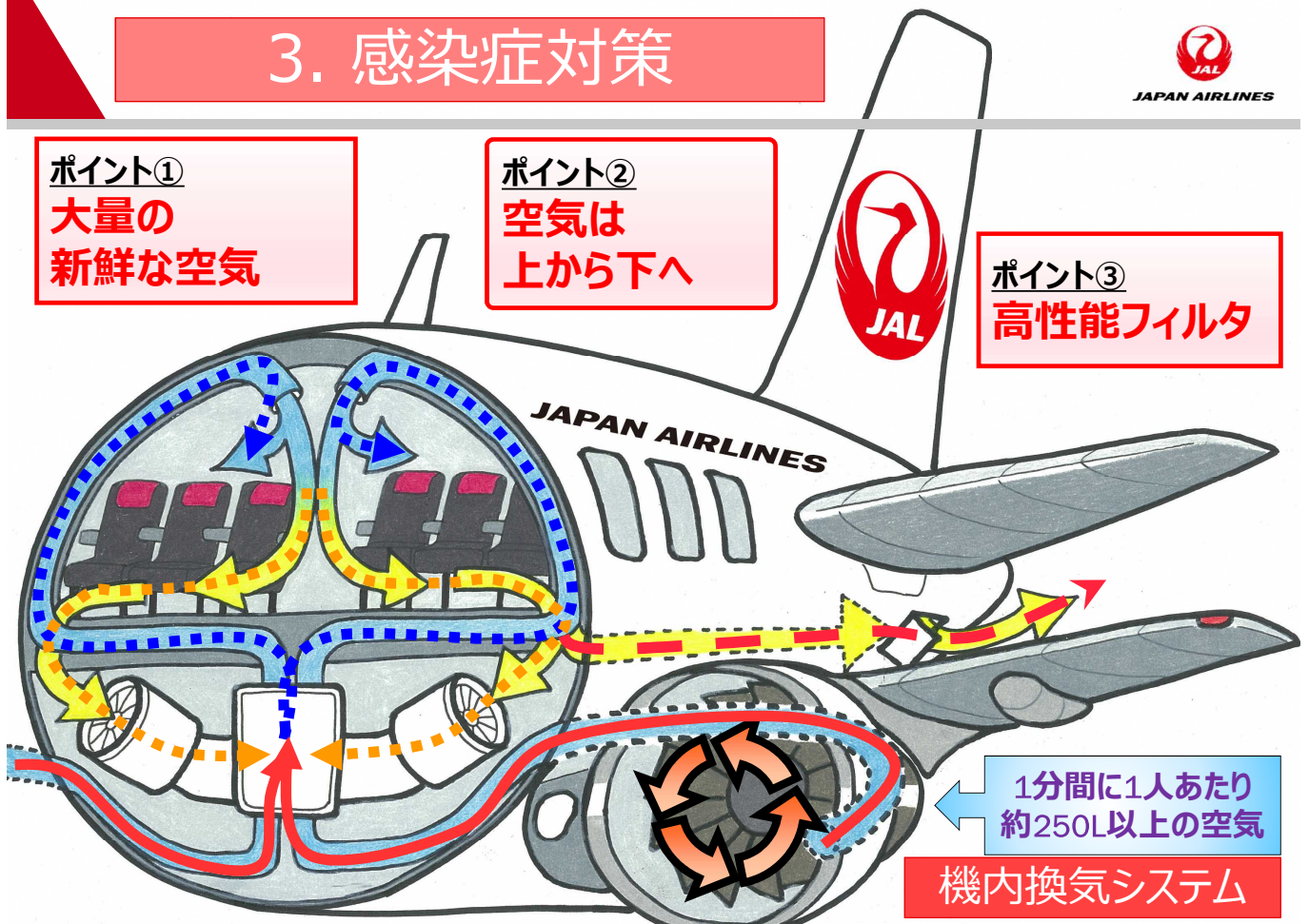
大量の
新鮮な空気

ポイント②

空気は
上から下へ

ポイント③

高性能フィルタ

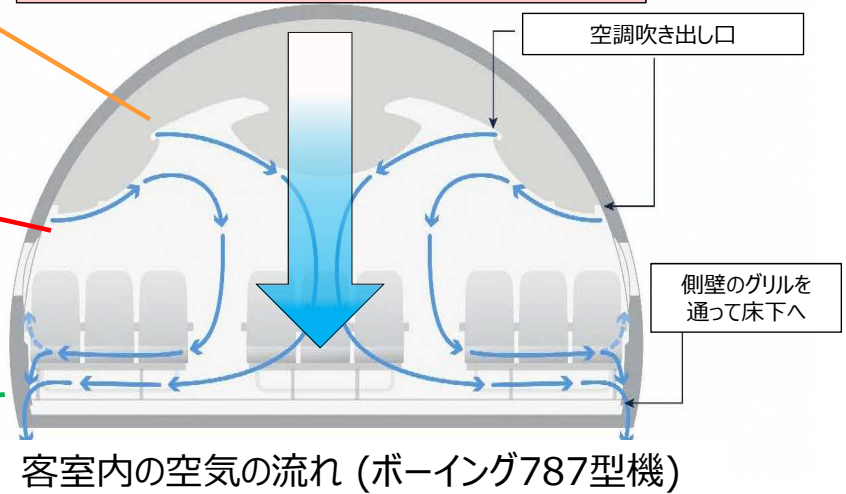


3. 感染症対策

空気は上から下へ



前後方向の流れを極力抑えた上から下への流れ



効率的かつ均一に機内の空調・換気を行うため、客室内全体にわたって空調の吹き出し口および排出グリルが設けられている

3. 感染症対策

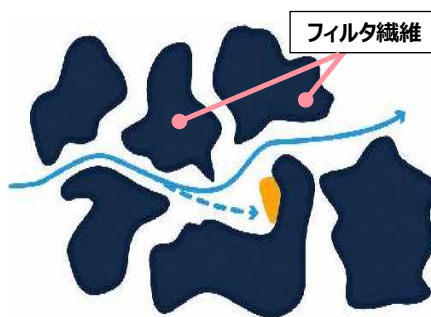
高性能フィルタ (HEPAフィルタ)

さえぎり効果

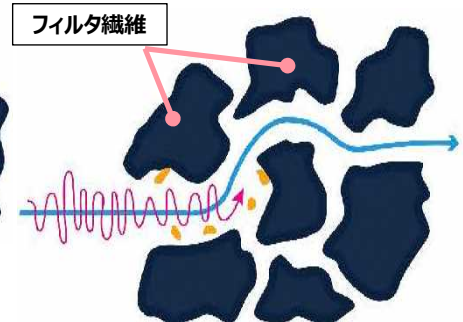


ボーイング787型機のHEPAフィルタ

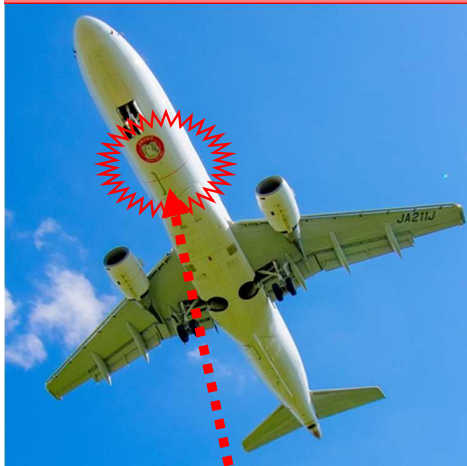
慣性効果



拡散効果



ご清聴いただきありがとうございました。



皆さまのご利用をお待ちしております。